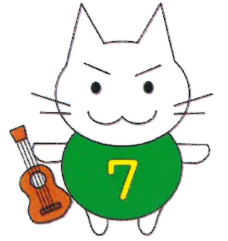


# セブンにゃん新聞



セブンにゃん

セブンにゃん新聞出版部

〒192-0045

東京都八王子市大和田町5-12-3

第2信栄ビル102号 ☎042(646)9934 セブンヒルズ株式会社



8号

令和5年9月発行



## 八王子市と苫小牧市 姉妹都市盟約50周年

令和5年は八王子市と苫小牧市が姉妹都市になって50周年です。なぜ八王子市と北海道の苫小牧市が姉妹都市となったのでしょうか。

そのきっかけは江戸時代にまで遡ります。徳川家康が豊臣秀吉の命により、関東へ転封になった際に、西の守りとして八王子に千人同心を組織しました。

やがて徳川家が天下を取り、江戸に幕府が開かれると、千人同心の役割は八王子の治安維持だけではなくなりました。そのひとつが開幕の祖である家康を祀っている日光の防備でした。この日光勤番は幕末まで続きました。

十八世紀後半になると、外国船が日本の周辺に現れるようになります。

特にロシアの南下政策に幕府は神経質になっていました。

当時、エカテリーナ2世の治世だったロシアは、千島列島や樺太に南下していました。

1792年(寛政4)大黒屋光太夫ら日本人の漂流民を乗せたロシア船が根室に來航します。ロシアの目的は日本との交易でした。

当時の幕府は鎖国政策を取っていたため、これを拒否します。

その後ロシアは蝦夷地を襲撃し、日口関係は緊迫しました。幕府の危機意識は高まり、蝦夷地の一部を直轄領としました。



千人同心碑(苫小牧市)



ロシア エカテリーナ2世

このような幕府の動きに呼応して、千人同心の原半左衛門が蝦夷地の開拓と警備を願います。

1800年(寛政12)幕府の許可を得て北海道に渡ります。青森の三厩から船で函館に渡り、海岸沿いに進み、室蘭や苫小牧を経て白糠に至りました。

現地の気候の厳しさは想像を超えるもので、開拓による収穫は乏しく、病人が続出しました。

多くの犠牲を出した千人同心の蝦夷地開拓事業でしたが、こうした事業が縁となって、1973年(昭和48)に八王子市と苫小牧市は姉妹都市となりました。

この開拓事業を主導した原半左衛門の墓は本立寺(八王子市上野町)にあります。墓前に立つ石灯籠は、苫小牧市から贈られたものだそうです。



現在も小学校で苫小牧市ゆかりの食材を使った給食の提供や小中学生の訪問交流、八王子祭りへの招待などの交流が続いています。苫小牧市勇武津資料館は、千人同心移住を記念して2001年に建てられました。